

## 第2回検討会参加者からの主なご意見

### ○デジタル情報を活用した空港運営効率化の取組について

- ・ターミナルビル内の旅客フローの把握も空港会社にとっては重要。
- ・空港への到着便の旅客情報の把握が難しい。
- ・設備・車両等の利用状況の把握や効率化ができないか。
- ・地上業務機材の共通（Common）使用による様々な効果が期待できる。
- ・プラットフォームみたいな共通ベースからある程度空港ごとにシステム構築をするとコスト面でも良いものができるのではないか。仕組みづくりができてくると各空港も効率的に色んなDXを進めていくことができる。
- ・「みんなで共通化できるようにデジタル化する必要があり、単にデジタル化すればいいというものではない」という議論も必要。
- ・手続き面などのデジタル化による負担軽減は、我々航空会社側にとって重要な課題だと認識。

### ○データ活用に向けた論点について

（システム設計のプロセス）

- ・協調領域と競争領域を意識したシステムデザインが重要。
- ・最初のサービスデザインが、こういった取組では大事。実際動くプロトタイプを使っていたきたい。

（データの内容について）

- ・どのようなデータを保有しているかを洗い出して、よい設計につなげると良い。
- ・必ずしもデータになっていないようなものをデータ化する取組の有無如何。
- ・システムの大小によらず、航空機運航の情報は統一のフォーマットが好ましい。

（データの提供方法）

- ・APIの活用など、インターフェースのハードルを下げた技術展開を期待。

以上